

田和山の森から

作業再開！

去る4日（金）、コロナ対策のため中止していた作業を再開しました。当日は森の入口の松を伐採しました。この松は20数年前に生えたものですが、日当たりがよく大木になっていました。倒木防止のため、今回伐採したものです。作業のようすを写真で再現します。



枯れた松の大木



下枝を切り落とし
倒す方向にロープを張る



チェーンソーで切断する



ロープを引きながら倒す



伐採木の処理（手渡し運搬）

今後の予定

- 伐採した松の処理
- 落葉の処理（2月の続き）
- 昨秋伐採したシイタケ原木の切断・運搬・植菌、倒木の片付け
- 尾根の東側で伐採した桜の木の搬出・原木用に切断・ナメコの植菌



田和山の樹木第27回 アセビ

山陰地方の雑木林で、早春に花をつける樹木の一つにアセビがあります。花は、早いときには2月に咲き始め、5月ぐらいまで見ることができ、長く楽しめます。花の色は白で、ドウダンツツジに似た壺型の花が、枝先から



多数垂れ下がるように咲きます。日当たりのよい痩せた尾根筋にいれば、どこでもよく見かけることができますが、田和山には自生したものはなく、植えられたものが一本だけあります。

アセビの花色は白が基本ですが、稀に薄紅色のものを見ることができます。これは、園芸用として好まれています。

アセビの一番の特徴は毒性です。アセビの葉、花、枝には呼吸中枢を麻痺させるグラヤノトキシンIがあり、アセビの葉などの誤食は避けねばなりません。漢字に馬酔木が当てられているのもこの毒性に由来しています。

○「田和山を育てる会」発足20周年記念事業について

本会は、2002年9月20日に発足し、以来今年で20年が経ちました。この間いろいろありましたが、よく継続できました。10周年に当っては、記念講演やシンポジウム、祝賀会、展示会（会員作品中心）、記念植樹等を行い、また、記念誌の発刊も行いました。

今回、20周年にあたり簡素で実のある記念事業を行いたいと思います。会員の皆様のご意見をお待ちしています。

今後の活動予定

3月11日（金）13:00～、19日（土）9:00～、25日（金）13:00～、

4月1日（金）13:00～、8日（金）13:00～、16日（土）9:00～、22日（金）13:00～、29日（金）13:00～